

2020年度 第3回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	2020年9月1日(火) 17時45分～18時45分
開催施設 参加者数	金沢大学28名、富山大学0名、福井大学4名、金沢医科大学4名、石川県立看護大学6名、信州大学4名、 金沢赤十字病院0名、石川県済生会金沢病院0名、石川県立中央病院5名、金沢市立病院2名、 小松市民病院0名、浅ノ川総合病院1名、公立松任石川中央病院4名、 富山県立中央病院5名、高岡市民病院0名、富山県済生会富山病院2名、金沢医科大学氷見市民病院4名、 黒部市民病院9名、富山労災病院0名、 飯田市立病院3名、諏訪赤十字病院0名、 会場参加 計81名 その他 個別のオンライン参加 計47名 合計128名
テーマ	「緩和的放射線照射を受ける患者の安心・安全なケア ～放射線治療を安楽に完遂するための多職種連携～」
発表者	福井県立病院 玉村 尚子さん
【意見交換内容】	<p>1. 電子カルテで具体的に共有出来なかったのに理由があるのかという質問に対し、掲示板に記載しても伝わらない、電子カルテの掲示板機能は伝言が保証できないという回答が得られた。また、電話での連絡や看護記録に残すなどが望ましいと言った意見もあった。</p> <p>2. 連携の難しさを実感しているが、30分の治療時間で信頼を得ており、どんな思いを語ったのかという質問に、リハビリテーションに疲れた思いや、退院にむけての希望などを傾聴し、技師との会話をフィードバックで図った。更に、治療室が個室なので環境が良かった。多職種で関わっていたことが患者を多方面から捉えることができたという回答があった。</p> <p>3. 他の病院では放射線部門は多職種連携は常にしているかという質問に、主科と放射線部門だけの関わりが多いが、骨転移や痛みがあれば、関わることもある。放射線治療をしているが、緩和ケアカンファレンスに放射線腫瘍医1名いるが参加はしていない。放射線の看護師が情報を提供し看護を繋いでいる施設や放射線科の医師はカンファレンスに関与していない施設がいくつかあった。また、放射線科の看護師が多職種カンファレンスに参加しており、そこでの情報を放射線科に持ち帰り情報共有している施設もあった。</p> <p>4. 他の施設で疼痛のある放射線治療を受ける患者への工夫はという質問に、ソフトナースを使用している施設と使用していない施設があった。</p>
ミニレクチャー	放射線治療部門と緩和ケアチームとの協力について